

あゆ

2005年夏季号(通巻62号)

発行:財団法人 豊川市国際交流協会

編集:ニューズレター部会

〒442-0878 豊川市新道町1丁目1-3 勤労福祉会館内

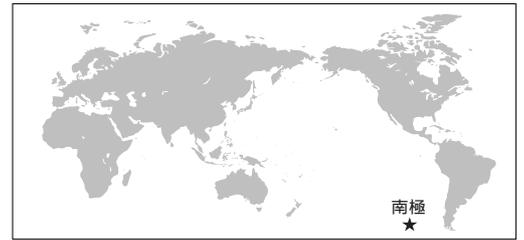
☎0533-83-1571 FAX0533-83-1581

(年4回 5・8・11・2月発行)

ホームページアドレス <http://www.yui.or.jp/tia/>

メールアドレス tia@yui.or.jp

”想い出の一枚“
ワールドショット



● フィリピンの結婚式

豊橋市 竹本 昌三郎

2005年4月16日、よく晴れてマニラ近郊のラグーナ湾から吹いてくる風が心地よい土曜日の10時30分に、彼女の結婚式は始まりました。リザールと呼ばれるその村は、喧騒のマニラから西に向かい山道を車で1時間30分、彼女が生まれ育ったところです。写真は結婚式が行われた村の中心部にある教会です。大きく重厚な石造りの建物で長い間この地を統治したスペインの様式の影響が見られます。

彼女の名前はウェン、2年前の6月に、ジャイカのプログラムで23人のフィリピンの仲間とともに来日しました。約1か月間の日本について学ぶプログラムの中で豊川を訪れ、特に農業の施設や水利事業の説明を受けています。この年、豊川市による歓迎会が行われましたが、SARSの影響もあり、大事をとってホームステイは行われませんでした。しかし、彼女はその後も日本と縁が

あり、昨年約3カ月の家畜衛生についての研修を神戸で受けています。その時すでに愛知万博において豊川市はフィリピンとペルーのフレンドシップ国としてお付き合いすることが決まっていたので、「フィリピン・ペルーってどんな国」の催しが開催され、彼女も招かれました。そんなことから、彼女から豊川市国際交流協会の事務局に結婚式の招待状が届き、私を含めて4人が参加することになったのです。

フィリピンの結婚式に主席する男の人は、パロン・タガログと呼ばれる白いシャツと黒のズボンが正装です。また、ローマカトリック信者が80%を超えるフィリピンではキリスト教の形式で牧師さんのお説教と出席者の賛美歌で式が進行します。家族を大事にし、キリスト教の教えに従った堅実な暮らしをしているフィリピンの人たちを認識させる1日でした。

7月5日 おまつり広場で 「豊川市の日」元気に開催

万博もいよいよ佳境に入り、7月5日は「豊川の日」が長久手会場「あいち・おまつり広場」で開催されました。ぐずついていた天気もこの日はすっかり晴れて暑い一日でした。おまつり広場は午前10時から午後5時までまるっと一日豊川のオンパレード。テーマは「元気じゃん！とよかわ」。大勢の観衆に元気な豊川をアピールしました。

まずは、前座として5分前から繰り出した豊川門前商店街の皆さんによるチンドン行列、オープニングセレモニーの後、姉妹都市アメリカキュパティーノ市から応援に駆けつけた高校生の童謡合唱、八南小学校生徒によるミニコンサート、よさこい鳴子踊り、豊川小学校生徒の和太鼓、豊川高校生の和太鼓、チャレンジ！カブトムシに触れてみよう、という赤塚山公園での活動紹介、童謡



中野市長の挨拶と会場全景

コンサート、国府高校生のパフォーマンス、豊川高校生のパフォーマンスと続きました。午後4時から再度登場したキュパティーノ市高校生の合唱とよさこい鳴子踊りで締めくくられました。参加者は総勢600人、14団体でした。

また、後方に設けられた物販、観光PRコーナーでも豊川を紹介していました。

キュパティーノ市からの合唱団は、キュパティーノ高校の合唱団で、名前を「カペラ」といい、生徒が15人、関係者が5人の総勢20人でした。



フィリピン館長
ソリアーノさんの祝辞

ペルトリス館長
ペルトリスさんの祝辞



八南小学校生徒のコンサート



舞台横の大きな歓迎看板

アメリカ人の日本童謡歌手グレッグ・アウインさんと歌うキュパティーノ高校合唱団「カペラ」



豊川高校生によるパフォーマンス



後方の物販、観光PRコーナー



「カペラ」による映画「ラグタイム」のミュージカルメドレー



よさこい鳴子踊り

あなたの 身近に
「ベストな ひまわり」

ひと・夢・いいね。

 JAひまわり

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地
☎(0533)85-3171

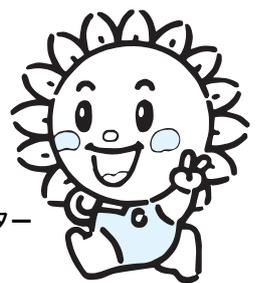


夢の旅へ
出かけよう!!

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

JAひまわり 旅行センター

プリオ4F ☎(0533)89-3055
営業時間/AM10:00~PM7:30



ペルーのフレンドシップパートナーです。

フィリピン観光省一行が豊川市長を表敬訪問

愛・地球博（愛知万博）においてフィリピンが豊川市のフレンドシップ国であることはもうご存知と思います。そのフィリピン観光省からの要請で、去る6月7日、豊川市は名古屋のホテルで政府代表者と面談を行いました。当日の出席者は、豊川市側は中野勝之市長、大沢輝秀フィリピンフレンドシップ大使（協会会長）、平松長之助国際交流協会副会長、鈴木不二夫市企画部長など7人で、フィリピン側はドゥラーノ観光大臣、シアゾンフィリピン大使、ローズビー愛知万博責任者、カバンサグフィリピン大阪事務所長の4人でした。

観光大臣からは、フィリピン館出展について豊川市からの支援に対するお礼と、予想を上回る入館者があり、感謝しているとの言葉をいただきました。市長からは、16年1月に協会から派遣した親善使節団に対して受けた歓迎のお礼と、フィリピン館の盛況に対するお祝いの言葉と共に、来る9月20日のフィリピンナショナルデーに



ドゥラーノ観光大臣（右側）と歓談する市長

は豊川市から小中学生など500人以上が応援に駆けつける予定があることなどを伝えました。次いで、大澤フレンドシップ大使からは、フィリピン館の成功に向けて親善大使としての役割を精一杯果たしたいとの言葉も伝えられました。

また、フィリピン大使からは、2006年が日本フィリピン国交50周年の記念の年になり、両国で1年を通して祝賀行事を計画しているため、その中の一つのイベントを豊川市で開催したいとの呼び掛けがありました。豊川市長は意義のあることでぜひ実現したいですねと応じました。

最後に大使から「万博へお越しの節はぜひフィリピン館へ足を運んで欲しい。プレミアムリゾートアイランドフィリピンへぜひ遊びに来ていただきたい。心から歓迎します」との言葉があり、終始和やかな雰囲気の中で懇談を終えました。

ペルーの展示が始まりました！

諸々の事情で遅れていたペルーの属しているアンデス・アマゾン共同館が、去る5月13日やっとオープンしました。



アンデス・アマゾン共同館の外観

しかし、展示は十分でなく、日を追って充実させると、進化し続けるパビ



インカの像、モチエ時代の王様



パチャママ（手前）とキプ（上）パチャママは人や自然など全てを慈しみ、包み込む大地を表現した展示物。キプはインカ文明には文字がなかったの代わり、意思を伝達した結び目のある紐のこと。

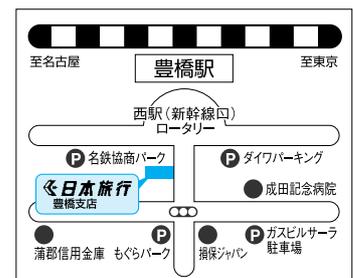
リオンを標榜しています。また、この共同館には豊川市在住のアテンダント2人が働いています。お出掛けの折にはぜひ声を掛けていただき、ペルー館の展示を楽しんでください。

日本旅行 豊橋支店

国土交通大臣登録旅行業 第2号 / JATA(社)日本旅行業協会正会員
 ボンド保証会員 / 旅行業公正取引協議会会員

〒441-8013 豊橋市花田町一番地180
 TEL 0532-33-7910
 FAX 0532-33-7929

受付時間 / 平日 10:00~18:00
 定休日 / 土曜・日曜・祝日



◎駐車場案内 / まちなかパーキング(共通駐車場券)
 ご旅行お申込み・お買上げのお客様に限らせていただきます。
 市JR券、航空券、バス等の交通券のみのお買上げは除かせて頂きます。

豊川フレンドシップ国料理交流会

協会では6月4日(土)正午から午後3時まで、豊川市勤労福祉会館大研修ホールにて「豊川フレンドシップ国料理交流会 フィリピン・ペルーを味わおう」を豊川市との共催で開催しました。愛知万博のフレンドシップ国であるフィリピン・ペルーの食文化を日本の食文化と比較しながら紹介しようという、初めての試みです。総勢201人の参加がありました。

メニュー

全部で17種類。食べきれないほどたくさんの料理に、参加者の方々も大満足でした。一部の料理については会場にレシピを用意し、ぜひ一度自宅で作ってみようと思ち帰る人もたくさんいました。

- * フィリピン料理：焼ビーフン・エビ春巻き・プリン・ピーナツクッキー・バナナ・ジュース
- * ペルー料理：牛肉の煮込み・カナリオ豆の煮込み・ミートパイ・クッキー・ぶどう・ハーブティー
- * 日本料理：稲荷寿司・あんぱん・稲荷巻せんべい・メロン・日本茶

イベント



会場を圧倒した「乱舞天王 蒼」の踊り

一番の注目を集めたのは「乱舞天王 蒼」によるよさこい踊りでした。グループの生い立ち、学校の勉強の合間を縫っての猛練習等のエピソードの後ステージ一杯に繰り広げられ

た踊りは、思わず涙が出そうなほど感動的でした。

その後も、食文化に関するお話、日本人・ペルー人の混合バンドによるペルーの音楽演奏、豊橋技術科学大学のフィリピン人留学生が中心となったフィリピンの踊りと続き、食文化だけではなく、フレンドシップ国の文化全般の理解を深めるのにたいへんいい機会となりました。

スタッフ

今回の一大イベントを支えたのが、各部会、サークルの代表で結成された企画委員会のボランティアです。みなさんのたいへんな努力のおかげですばらしい行事となりました。スタッフの中心として動いた協会事務局のロペスさんと、フレンドシップ部会の宮本多津子さんに感想を聞いてみました。

豊川市民と豊川市在住の外国人との料理交流会

事務局 クアガラオ ロペス

今回の行事は、ボランティアとTIAスタッフの活躍のおかげで、大成功を収めることができました。

まず、大切なお客様のためにふさわしい料理の内容を決めるのが本当にたいへんでした。でも何とか決めることができました。セコデカルネ(牛肉の煮込み)とフィリホレス(カナリオ豆の煮込み)をご飯



民族衣装でおもてなし

にかけたものがメインで、軽食としてアルファホレスというミートパイを用意しました。

当日は早朝から勤労福祉会館に集合しました。僕は朝食抜きで行きました。料理の一部はペルー人のベレナさんが作りましたが、他の料理は勤労福祉会館の調理室でボランティアのかたたちが心を込めて調理してくれました。みなさんのおかげでたった数時間で準備をすることができました。

ペルー料理ができたあと、ボランティアのみなさんにペルーの民族衣装を着てもらいました。みなさんとても似合っていてすてきでした。特に北村京子さん(カワイイ!)。僕はボランティアの方々の姿を見て感動しました。ペルー料理のコーナーにすばらしい雰囲気を作り出してくれました。

行政書士小柳津えみ事務所

DESPACHANTE CREDENCIADA

入管手続・帰化申請・内容証明
遺言書・相続手続・各種許認可申請

豊川市御油町栗木山152番地
TEL 0533-80-1801
FAX 0533-80-1802
E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

世界の旅

パッケージツアー
航空券・海外ウエディング
旅館・ホテル・観光バス

国内の旅

個人から団体まで



かわしんグループ
ジェイティービー代理店



豊伸トラベルサービス(株)

営業時間 土・日も営業 豊川市諏訪3丁目302(プリオII1階)
AM10:00~PM8:00 0120-857716
☎(0533)89-7716 FAX89-8233

ペルーのフレンドシップパートナーです。



フィリピン・ペルーを味わおう

いよいよ交流会が始まり、喜んで食事をしている参加者の姿を見て、私たちもますます嬉しくなり、誇りに思いました。僕も何とか時間を作って少しでも食事を味わいたかったです。その後、ペルーの音楽グループが登場し、“las virgenes del sol”(ペルーの伝統的な歌)の演奏がありました。小原三恵子さんの美しい歌声が今でも耳に残っています。とてもすばらしかった。

最後に、これからも同じようなイベントがもっと行われることを願っています。このような交流会を通じてお互いを知る機会が生まれ、日本人、フィリピン人、ペルー人が新しく友達になることができますから。

料理交流会を終えて

フレンドシップ部会 宮本多津子

2年前から、今年開催中の「愛知万博」に何らかの形で携われれば、と楽しみにしていました。今年になり、ワクワク！ドキドキ！

2月中旬のこと、17年度行事に料理交流会の話があり良く見るとメンバーの中に私の名前が。初めは「何があるんだろう」と他人事でした。

2月28日に初めてメンバーが集まり、事務局から内容を聞き開催日は6月4日に決まり、3月からは本格的に動き始めました。そこからは、時には足踏みをしたこともありましたが、具体的に、どんどん計画が決まっていきました。

タイトルは「豊川フレンドシップ国料理交流会 - フィリピン・ペルーを味わおう」に決まり、料理を何にするか、プログラムの内容、役割割り等々、何度もミーティングをして、時には意見が衝突し、深夜0時を過ぎたこともありました。ひとつの事に対して、みんなで創り上げたイベントでした。私も役を頂き、前日の準備が終わった頃にはプレッシャーに押し潰されそうでした。

いよいよ本番当日。朝早くから、料理の準備に大忙し。パタパタの中で本番スタート。司会の西牧さんの説明後、何の混乱も無く順番に料理を取りに行っていた参加者の

方々。皆さん、口々に「美味しい、美味しい」と、まずは好調な滑り出しでした。

次は私が担当のコーナー。今回の料理を何にするか考えてくれたフィリピン＆ペルーの方にインタビュー！マイクトラブル等でスムーズに進まず打ち合わせ不足もあり途中で中断。失敗に終わってしまい悔しかった。直後、亥子さんがとっさの判断でその場をフォローしてくれたこと、感謝しています。

私が反省している頃、本当は「おいでん祭」で解散予定だったのに、今回をラストステージに選んでくれた「乱舞天王 蒼」の、よさこい踊りが大いに会場を盛り上げ



ステージでのインタビュー。右端が宮本多津子さん。
右から3番目がロベスさん。

てくれました。大成功を実感した瞬間でした。

松屋のおかみさんの話、夜の公園で練習した「ペルー楽器演奏」、フィリピンの方が「オチョオチョ」で会場を一体にして踊り...気が付けば終わりに近づいていました。アンコールに答えてくれた「乱舞天王 蒼」。大盛況の中、終了を迎えました。

協力してくださった部会、サークルのボランティアの方々、事務局の皆さん、ありがとうございました。作間さん、白井さん、西牧さん、亥子さん、細川さん、山口さん、小原さん、ベレナさん、フェロミナさん、メリーさん、シンティアさん...お疲れ様でした！途中で投げ出したいこともありましたが参加できて良かった。反省することもあります。今は充実感でいっぱい。またみなさんと一緒にできる機会を楽しみにしています。

NECワープロ・パソコン専門店
文具・事務用品・紙製品
スチール家具・OA機器



有限会社 **するが屋**

豊川市光明町2-7

☎(0533)86-2509 FAX(0533)86-2299

村松書店

〒442-0041 豊川市旭町6番地

TEL (0533) 86-3810

FAX (0533) 86-2682

E-mail add.

mbooks@amitaj.or.jp

「おいでん祭」で万博フレンドシップ国をPR

——— 青空のもと2日間とも大盛況 ———

5月28日(土)、29日(日)に開催された第17回豊川市民まつり「おいでん祭」で、豊川市の万博フレンドシップ国ペルーとフィリピンのPRを行いました。

市野球場に設置されたテント内で、両国を紹介するパネルやポスターを展示したり、スナック菓子やビール、



人気を集めたアルパカ

ジュースなどの飲み物、キーホルダーなど小物の販売も行いました。暑いさなか、無料配布の万博PR用うちわは、あっという間になくなってしまいました。

大きなアルパカとモリゾー、キッコロの縫

いぐるみにも人気が集まり、中に入っている人はさぞかし暑かったことと思います。

29日(日)には、会場内の特設ステージで、ペルーの伝統的な音楽と踊りを披露し、多くの人に楽しんでもらいました。

その他、農産物即売コーナーや世界の難民に衣服を送る「愛のチャリティコーナー」もあり、主催者の発表によると12万人もの来場者があり、豊川市の万博フレンドシップ国ペルーとフィリピンを多くの人に紹介することができたと思います。



魅力的なペルーのダンス

オイスカ研修生との交流会

——— 10年連続の交流 ———

5月23日(月)、財団法人オイスカ中部日本研修センターからインドネシア、スリランカ、バングラデシュ、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、パプアニューギニア、フィジーの8カ国13人の農業研修生と指導員4人をお招きしました。



日本語で自己紹介しました

午前10時からJAひまわり農業協同組合のグリーンセンター音羽、トマト集出荷場、営農センターなどの各施設を見学しました。午後6時から勤労福祉会館視聴覚室で交流会を行いました。参加者は総

勢55人で、簡単な飲み物とお菓子による茶話会でしたが、パフォーマンスの披露もあり、楽しく過ごしました。

「豊川訪問を楽しみにしていました。研修の成果を祖国で大いに生かしたい」(ミャンマーの男性)、「グリーンセンターの農産物の豊富さに驚いた」(インドネシアの男性)、「日本の好きな食べ物は天ぷらと魚です」(フィジーの女性)、「試食したトマトがおいしかった」(ほぼ全員)などと習得中の日本語で感想を述べられました。

最後に、協会と日本文化紹介サークルから記念品が贈られ、全員で記念撮影をしました。

オイスカ研修生との交流会は、1996年(平成8年)から毎年開催し、今年が10年目となりました。



全員で楽しく踊りました



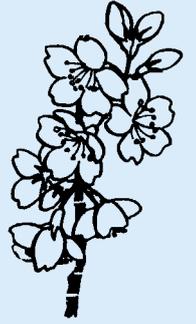
良質生活アピタ
アピタ豊川店

豊川市開発ビル株式会社
豊川市諏訪3丁目133番地
TEL(0533)89-3000





キュパティーノ市訪問記(その1)



姉妹都市のアメリカカリフォルニア州キュパティーノ市には“チェリーブロッサムフェスティバル(以後“桜祭り”と表記)”というイベントがあります。これは豊川市と姉妹都市提携して、記念に豊川市が贈った桜に因んで開催されています。原則4月第4土、日曜日です。詳細を知りたくてこの4月訪ねてみました。2回にわたって報告します。

キュパティーノ・サークル 今泉徳好

到着

4月22日、地中海性気候で、温暖なカリフォルニアは、さぞ爽やかな初夏を感じさせる良い天気だろうと想像しながらサンフランシスコ空港へ降りました。さにあらず、曇天。残念～！それでも木々は新緑に燃えていました。

レンタカーで行動するつもりだから、まずは車を借りなければなりません。空港ビルの4階からトラムでレンタカーセンターへ移動です。大きなビルに2階にわたってレンタカー会社が10社位並んでいます。さすが車社会のアメリカです。

おっかなびっくり右側通行で一路キュパティーノ市へ。

目的

今回の訪問には二つの目的がありました。一つは桜祭りを見るだけでなく現地の姉妹都市委員会のメンバーと一緒に体験すること、二つ目は二市の交流の歴史をもう少し掘り下げて調べることでした。一行は4人。私と家内、それにマイナー・アラン夫妻です。私の古くからの友人ヴァージル・クラインさんからは「桜祭りは見て

クインランセンター玄関



レンタカーセンター



豊川からの桜が一部咲いていました



22日午後、舞台正面ヘタペストリーを貼る、アラン・タニグチさんとマイナー治子さん

欲しいが、来てくれても何のもてなしもできない。連日姉妹都市委員会のメンバーはてんてこ舞いだ」と聞かされていました。そこを承知でホテル住まいをしながら会場へ通うことにしました。

手伝い

キュパティーノ市へ着いてまず訪れたのはアラン・タニグチ夫妻の家です。挨拶もそこそこに早速タニグチ家に準備されていた道具や看板などを積み込んで、いざ、会場のメモリアルパークへ。

会場は芝生一杯の外と、クインランセンターという建物の中です。大勢のメンバーを想像したが実は全く逆で、私たちは渡りに船の大いなる助っ人になりました。多くの機材は少し離れたモンタピスタパークの建物に収容されており、都合ピックアップトラックで3往復しました。重い物が多く男手が多く要ったのでした。クインランセンターは公園の一角にあり、ちょうど豊川市の勤労福祉会館のような目的の建物です。時差ぼけもあり初日はかなり疲れました。昼食は抜きで、少し早めの夕食を摂って早々ホテルへ。着くや否やベッドへまっしぐら。

(次号へ続く)

国内旅行・海外旅行

お問い合わせ、申込みは
旅行の総合デパートを目指す
当社へ是非お願いします

(株)トラベル東海

豊川市三蔵子町一里塚41-4
(0533) 84-7115(代)

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株)林電工



恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 ☎(0533) 85-9977



INFORMATION

文化講座「ベトナムってどんな国」受講者募集

世界各国の文化に関する知識を広め、国際理解を深めるため年2回開催しています。今回は「ベトナム料理」や民族衣装「アオザイ」で私たちを魅了するベトナムについて学ぶことにしました。

期 日 9月10日(土)
時 間 午後2時～4時
場 所 勤労福祉会館視聴覚室
定 員 40人
受講料 会員 300円
一般 500円
講 師 第36代なごや民間大使



ウォン・フォン・チャンさん

内 容 ベトナムの歴史、文化をはじめ穴場の観光スポットなどについてお話を聞きます。ブレイクタイムには、はす茶と揚げバナナを試食します。

申込み 8月17日(水)から電話で協会事務局へ。
先着順。

外国語講座受講者募集

日常英会話中級 定員25人

期間 10月4日～12月6日 毎週火曜日
時間 午後1時30分～3時

中国語初級 定員20人

期間 10月5日～12月14日 毎週水曜日
時間 午後7時30分～9時

ディスカッション英会話 定員25人

期間 10月7日～12月9日 毎週金曜日
時間 午後7時30分～9時

場 所 勤労福祉会館
受講料 会員4,500円、一般6,500円(テキスト代込み)
申込み 9月15日(木)までに電話で協会事務局へ。
定員を超えた場合は抽選です。

ホストファミリー募集中

愛知万博に出演するため豊川市の姉妹都市から高校生合唱団はじめ大勢のかたが来豊されました。今後も、マレーシアからジュニアフレンドシッププログラムによるメンバーの来豊など多くの外国人の訪問が予想されます。協会では、これらに対応するためホストファミリー登録制度を始めています。ホストファミリーを希望されるかたは、事務局までご連絡ください。登録用紙をお送りします。また、協会のホームページからもダウンロードできます。

実行委員会が充実

実行委員会は、従来からホームステイ部会、ラングウェッジ部会、ニューズレター部会、フレンドシップ部会の4部会により構成されていましたが、4月から新たに日本語部会が加わり5部会になりました。

年々増え続ける外国人は、今年6月1日現在、44カ国4,838人(外国人登録者数)が市内に住んでいます。市の人口が121,478人ですから、25人に1人が外国人ということになります。人数の上位国は、ブラジル、ペルー、フィリピン、韓国、中国の順です。

私たちの身近で生活している多国籍の外国人との交流を推進していくことは非常に大切なことです。1996年(平成8年)日本語部会の前身の日本サロンサークルが発足し、外国人が日曜日でも気軽に協会事務室を訪れて市民と親しく交わる機会を作りたいという願いから、外国語の新聞や雑誌を置いて、日曜日の事務室活用を図りました。当時、市内には外国人に日本語を教える機関がなく、協会として必要に迫られ日本語教室を開設しました。単に語学指導だけでなく、ボランティアとして、ごみの出し方など生活面での支援も行いました。

豊川市の発展にとって、外国人との相互理解は不可欠です。同じまちの住民という共通意識を持ち続けるためにも、日本語部会の皆さんのさらなる活躍を期待いたします。

豊かなくらしのお手伝い



豊川信用金庫

本店 豊川市末広通3丁目34番地の1 ☎(0533) 89-1151(代)